

THEO リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心)

運用報告書 (全体版)

第5期 (決算日 2022年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「THEO リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心)」は、2022年1月31日に第5期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日：2017年3月1日)	
運用方針	「THEO リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)」の運用方針です。 ①主として世界の投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

(受付時間：委託会社の営業日の9:30～17:00)

ホームページ：<https://www.money-design.com/>



東京都港区赤坂1丁目9番13号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落		投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分	分配 金		
(設定日)	円		円	%	百万円
2017年3月1日	10,000		—	—	1
1期(2018年1月31日)	9,810		0	△ 1.9	14
2期(2019年1月31日)	9,790		0	△ 0.2	44
3期(2020年1月31日)	10,775		0	10.1	101
4期(2021年2月1日)	10,365		0	△ 3.8	165
5期(2022年1月31日)	12,677		0	22.3	270

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託 組入比率
		騰	落	
(期首)	円		%	%
2021年2月1日	10,365		—	99.9
2月末	10,750		3.7	100.0
3月末	11,167		7.7	99.9
4月末	11,518		11.1	100.1
5月末	11,939		15.2	100.1
6月末	11,910		14.9	100.2
7月末	12,017		15.9	99.9
8月末	12,043		16.2	99.8
9月末	11,936		15.2	99.9
10月末	12,791		23.4	100.1
11月末	12,581		21.4	100.1
12月末	12,986		25.3	99.8
(期末)				
2022年1月31日	12,677		22.3	99.6

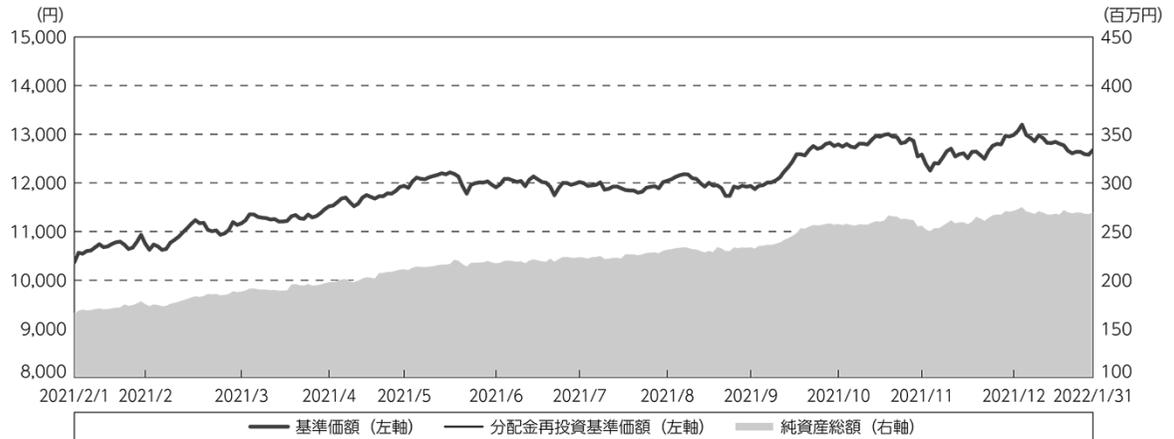
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2021年2月2日～2022年1月31日）

期中の基準価額等の推移



期首：10,365円

期末：12,677円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：22.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2021年2月1日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、22.3%上昇しました。

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

2021年中は、コロナ禍からの経済活動正常化の過程で金融緩和策が継続されたことなどから米国の不動産やインフラ関連株式が上昇しました。2022年に入ると主要先進国の中央銀行が金融緩和策の縮小姿勢を明確にしたことにより不動産関連株は下落しましたが、通期では基準価額に大きくプラスに寄与しました。エネルギー価格も景気回復による需要増に加え供給網の混乱やウクライナや中東での地政学的リスクの高まりなどから上昇し、エネルギー関連株式が基準価額にプラスに寄与しました。一方で、2020年に大幅に上昇したクリーンエネルギー関連株式は、今期は軟調な展開となり基準価額にマイナス寄与となりました。金、銀などの貴金属価格は方向感に欠ける推移となり、基準価額への影響は比較的小幅なマイナスでした。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。今期為替相場は円安米ドル高になったため、当ファンドの基準価額にプラスに寄与しました。

投資環境

当期の前半は、欧米で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み経済活動再開の動きが広がるとともに、米国では金融緩和策に加えて現金給付などの財政出動もあり、投資家のリスク選好が高まりました。新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や中国における不動産大手の資金繰り懸念および規制の強化などが懸念される局面もありましたが、株式や不動産価格は総じて上昇傾向を維持しました。当期の後半に入ると、コロナ禍後のサプライチェーンの混乱や人手不足による賃金上昇などを受けて物価が上昇し、インフレ懸念が拡大しました。当初は、インフレは一時的な要因によるものとしていた米国連邦準備制度理事会も11月ごろから金融緩和策の縮小姿勢を示し、金利が上昇しました。これを受けて2022年に入るとそれまで株式市場をけん引していたグロース株や不動産関連株などの一部が大幅下落するなど、株式および現物資産市場は神経質な展開の中で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 5 期
	2021年2月2日～ 2022年1月31日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,761

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、輸入物価を下限にすることを目途とし、世界の株式市場から資産を分散させリスクを制限するアルゴリズムを用いて、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年2月2日～2022年1月31日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	53	0.439	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(43)	(0.357)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(7)	(0.055)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.016	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(2)	(0.016)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	13	0.110	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.023)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(10)	(0.087)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	68	0.565	
期中の平均基準価額は、11,967円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

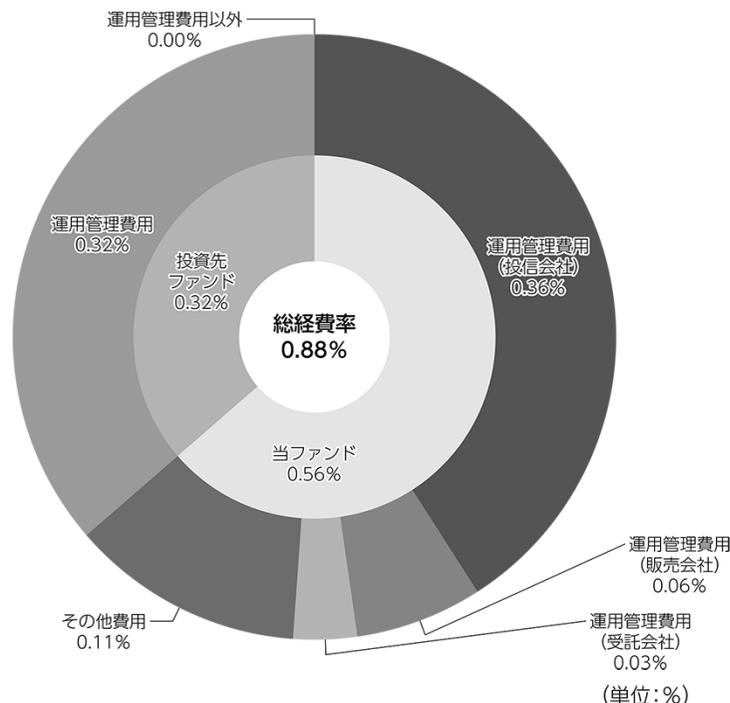
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.88%です。



総経費率(①+②+③)	0.88
①当ファンドの費用の比率	0.56
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年2月2日～2022年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）		64,251	78,746	13,436	16,427

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月2日～2022年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年2月2日～2021年8月31日)

該当事項はございません。※2021年9月1日 第一種金融商品取引業を廃止。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年2月2日～2022年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年1月31日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）	156,597	207,413	270,031

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年1月31日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）	270,031	99.6
コール・ローン等、その他	1,062	0.4
投資信託財産総額	271,093	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）において、当期末における外貨建純資産（269,002千円）の投資信託財産総額（270,520千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=115.44円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	271,093,215
コール・ローン等	683,771
THEOリアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）（評価額）	270,031,327
未収入金	378,117
(B) 負債	1,061,888
未払解約金	378,117
未払信託報酬	547,056
その他未払費用	136,715
(C) 純資産総額（A－B）	270,031,327
元本	213,000,522
次期繰越損益金	57,030,805
(D) 受益権総口数	213,000,522口
1万口当たり基準価額（C／D）	12,677円

(注) 当ファンドの期首元本額は159,947,305円、期中追加設定元本額は68,766,068円、期中一部解約元本額は15,712,851円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,267円です。

○損益の状況（2021年2月2日～2022年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	39,796,399
売買益	42,024,525
売買損	△ 2,228,126
(B) 信託報酬等	△ 1,227,076
(C) 当期損益金（A＋B）	38,569,323
(D) 前期繰越損益金	7,202,488
(E) 追加信託差損益金	11,258,994
(配当等相当額)	(12,898,262)
(売買損益相当額)	(△ 1,639,268)
(F) 計（C＋D＋E）	57,030,805
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	57,030,805
追加信託差損益金	11,258,994
(配当等相当額)	(13,052,288)
(売買損益相当額)	(△ 1,793,294)
分配準備積立金	45,771,811

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（4,560,921円）、費用控除後の有価証券等損益額（34,008,402円）、信託約款に規定する収益調整金（13,052,288円）および分配準備積立金（7,202,488円）より分配対象収益は58,824,099円（1万口当たり2,761円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

運用報告書

第5期（決算日 2022年1月31日）
（2021年2月2日～2022年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	組 入 比 率
		騰 落 率	中 率		
(設定日)	円		%		%
2017年3月1日	10,000		—		—
1期(2018年1月31日)	9,858	△	1.4	100.0	14
2期(2019年1月31日)	9,892		0.3	100.0	44
3期(2020年1月31日)	10,946		10.7	99.9	101
4期(2021年2月1日)	10,587	△	3.3	99.9	165
5期(2022年1月31日)	13,019		23.0	99.6	270

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	組 入 比 率
		騰 落 率	率		
(期 首)	円		%		%
2021年2月1日	10,587		—		99.9
2月末	10,984		3.7		100.0
3月末	11,416		7.8		99.9
4月末	11,780		11.3		100.0
5月末	12,215		15.4		100.0
6月末	12,191		15.2		100.0
7月末	12,306		16.2		99.9
8月末	12,339		16.5		99.7
9月末	12,235		15.6		99.8
10月末	13,116		23.9		99.9
11月末	12,908		21.9		100.0
12月末	13,328		25.9		99.6
(期 末)					
2022年1月31日	13,019		23.0		99.6

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

（2021年2月2日～2022年1月31日）

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、23.0%上昇しました。

2021年中は、コロナ禍からの経済活動正常化の過程で金融緩和策が継続されたことなどから米国の不動産やインフラ関連株式が上昇しました。2022年に入ると主要先進国の中央銀行が金融緩和策の縮小姿勢を明確にしたことにより不動産関連株は下落しましたが、通期では基準価額に大きくプラスに寄与しました。エネルギー価格も景気回復による需要増に加え供給網の混乱やウクライナや中東での地政学的リスクの高まりなどから上昇し、エネルギー関連株式が基準価額にプラスに寄与しました。一方で、2020年に大幅に上昇したクリーンエネルギー関連株式は、今期は軟調な展開となり基準価額にマイナス寄与となりました。

金、銀などの貴金属価格は方向感に欠ける推移となり、基準価額への影響は比較的小幅なマイナスでした。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。今期為替相場は円安米ドル高になったため、当ファンドの基準価額にプラスに寄与しました。

【基準価額の推移】



投資環境

当期の前半は、欧米で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み経済活動再開の動きが広がるとともに、米国では金融緩和策に加えて現金給付などの財政出動もあり、投資家のリスク選好が高まりました。新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や中国における不動産大手の資金繰り懸念および規制の強化などが懸念される局面もありましたが、株式や不動産価格は総じて上昇傾向を維持しました。当期の後半に入ると、コロナ禍後のサプライチェーンの混乱や人手不足による賃金上昇などを受けて物価が上昇し、インフレ懸念が拡大しました。当初は、インフレは一時的な要因によるものとしていた米国連邦準備制度理事会も11月ごろから金融緩和策の縮小姿勢を示し、金利が上昇しました。これを受けて2022年に入るとそれまで株式市場をけん引していたグロース株や不動産関連株などの一部が大幅下落するなど、株式および現物資産市場は神経質な展開の中で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、輸入物価を下限にすることを目途とし、世界の株式市場から資産を分散させリスクを制限するアルゴリズムを用いて、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2021年2月2日～2022年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 2 (2)	% 0.016 (0.016)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、12,256円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年2月2日～2022年1月31日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	4,630 (△25,054)	78 (△436)	277	4
	ISHARES GOLD TRUST	3,849 (12,527)	131 (436)	721 (1)	24 (-)
	ISHARES TIPS BOND ETF	2,728	350	739	94
	ISHARES US REAL ESTATE ETF	1,587	164	1,098	116
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	3,687	83	1,651	40
	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	1,261	58	456	21
	ISHARES SILVER TRUST	4,831	109	2,805	70
	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E ENERGY SELECT SECTOR SPDR	1,031 1,698	37 85	283 2,358	10 120
	小計	25,302 (△12,527)	1,099 (-)	10,388 (1)	503 (-)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月2日～2022年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年2月2日～2021年8月31日)

該当事項はございません。※2021年9月1日 第一種金融商品取引業を廃止。

○組入資産の明細

(2022年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	20,701	—	—	—	—	
ISHARES GOLD TRUST	—	15,654	532	61,495	22.8	
ISHARES TIPS BOND ETF	1,757	3,746	472	54,573	20.2	
ISHARES US REAL ESTATE ETF	5,574	6,063	636	73,476	27.2	
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	2,290	4,326	76	8,869	3.3	
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	2,915	3,720	173	19,981	7.4	
ISHARES SILVER TRUST	4,352	6,378	132	15,248	5.6	
SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	1,746	2,494	83	9,644	3.6	
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	4,049	3,389	222	25,676	9.5	
合 計	口 数 ・ 金 額	43,384	45,770	2,329	268,966	
	銘柄 数 < 比 率 >	8	8	—	< 99.6% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2022年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	268,966	99.4
コール・ローン等、その他	1,554	0.6
投資信託財産総額	270,520	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（269,002千円）の投資信託財産総額（270,520千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=115.44円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	270,520,837
コール・ローン等	1,554,484
投資信託受益証券(評価額)	268,966,353
(B) 負債	378,117
未払解約金	378,117
(C) 純資産総額(A-B)	270,142,720
元本	207,497,116
次期繰越損益金	62,645,604
(D) 受益権総口数	207,497,116口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,019円

(注) 当ファンドの期首元本額は156,597,680円、期中追加設定元本額は64,336,891円、期中一部解約元本額は13,437,455円です。

(注) 2022年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・ THEO リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心） 207,413,263円
- ・ THEOベスト・バランス・ファンド 83,853円

(注) 1口当たり純資産額は1.3019円です。

○損益の状況（2021年2月2日～2022年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,826,726
受取配当金	4,826,726
(B) 有価証券売買損益	37,103,801
売買益	45,958,424
売買損	△ 8,854,623
(C) 保管費用等	△ 723
(D) 当期損益金(A+B+C)	41,929,804
(E) 前期繰越損益金	9,186,709
(F) 追加信託差損益金	14,520,811
(G) 解約差損益金	△ 2,991,720
(H) 計(D+E+F+G)	62,645,604
次期繰越損益金(H)	62,645,604

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。